

企業と大学は
もっと一つの志で
つながることができる。

新しい可能性を創出する産学連携プログラム

ご参画のお願い



武蔵野大学
MUSASHINO UNIVERSITY

未来ある貴社、未来を担う学生、
双方にとってもっと有益な協力関係を
私たちは築きたい。





厚生労働省職業安定局は、

2010年6,750万人いる労働力人口が、15年後の2025年には6,260万人へ、
実に490万人減少すると推計しています。

さらに、加速度的な経済のグローバル化の背景もあって、
大学と企業がこれまでのように景気の動向のみで
雇用上の売り手、買い手の関係を繰り返しては、
共に消耗するばかりで、社会全体やこれからの
日本の将来を担う学生にとって有益ではありません。

この課題に対応するには、大学と企業の真の協働・連携が必要です。
企業はビジネスで、大学は教育で、それぞれが共栄するために、
産学連携により将来の可能性を創出する時です。
大学教育においては、産学相互で創出したものを、
どこまで『オーダー・メイド』して教育課程に取り込むかが、
教育改革のカギとなる時代に来たと言えます。

武蔵野大学は、多様な連携のあり方を用意しています。

さらに新しい関係を貴社と創り出していきたいと考えています。

武蔵野大学 キャリア開発部長 洞口光由

1.

産学連携教育プログラムによる人材育成

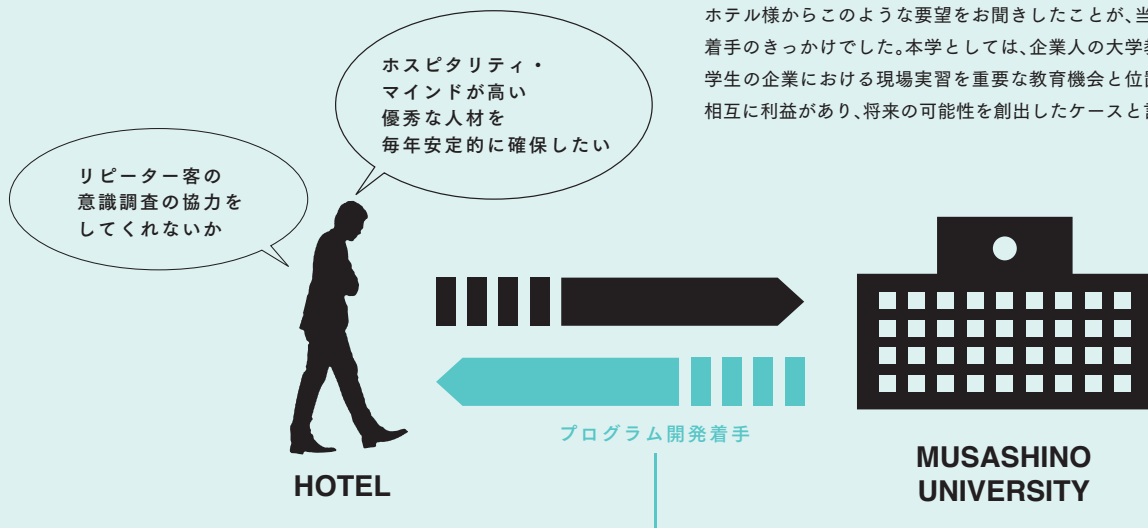
(本取組は、平成22～26年度文部科学省「大学生の就業力育成支援事業」に採択されております)

現在、5社様と長期インターンシップ実習を組み込んだ
産学連携教育プログラムが進んでいます。
わかりやすく一例をあげます。

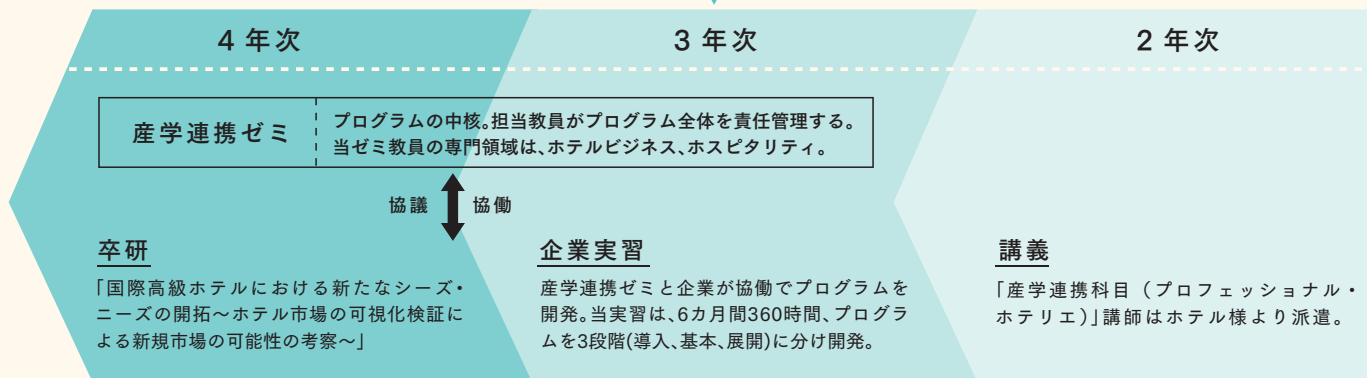
HOTEL × 武蔵野大学

(例) 都内ホテル様との産学連携教育プログラム

ホテル様からこのような要望をお聞きしたことが、当プログラム開発着手のきっかけでした。本学としては、企業人の大学教育への参画や、学生の企業における現場実習を重要な教育機会と位置づけています。相互に利益があり、将来の可能性を創出したケースと言えます。



目的：グローバル化を担うリーダーを育成する。



□ 産学連携基本システム：理論と実践を有機的に構成した教育プログラム（協働開発）

[理論] 企業実務家教員による企業実習並びに卒研に必要な講義

[実践] ゼミと長期インターンシップ実習（3か月以上）の接続 ※短期インターンシップ（2～4週間）も行っていきます

[研究] 外部卒業研究（ゼミと企業で協議し卒研テーマを決定します）

2.

中小企業と学生のマッチング支援

『オープン・カンパニー』



現在の学生の企業志向の要因は、学生が目にする中小企業情報(知識)が少ない、獲得し難いことが一つの要因であると私達は考えています。この課題に対応し、企業と学生のマッチ

ングにまでつなげるには、まずは学生と大学が企業の情報やニーズをきちんと捉え理解する必要があります。そのため、次の取組を開始しました。

中小企業 × 武蔵野大学

職場見学会

本学では、『オープン・カンパニー』と呼んでいます。学生が企業の職場の実際を見学させて頂いたり、仕事の本質についてお話を伺っています。効果としては、即効性が高いこと。学生の職業観・勤労観の深化はもちろんのこと、そのまま採用に直結することが極めて多いことです。学生を採用して頂いた企業様から大変高い評価を頂いている取組です。わかりやすく、東京都調布市にあります従業員20名程の菓子卸業様のタイム・スケジュールをケースとしてあげます。

13:00 社長様より会社概要や社の方針などを聞く

13:30 事務所・工場見学

14:30 質疑応答

(学生には、事前に会社研究をさせ、

質問を10個用意させています。

これを訪問の参加条件としています。)

15:30 帰路に着く頃には、学生の眼の色が

大きく変わります

(私達は学生が“化ける”と言っています。)

中小企業の皆様をお願いします。私達は従来の枠組みを大きく改革し、変化しています。中小企業の皆様からも、職場見学に来よう、武蔵野大学にぜひお声かけ頂きたいと思えます。



3.

採用選考会場として本学を提供

企業の採用選考 × 武蔵野大学

本学は、日々企業様を訪問しております。採用の御礼や卒業生の働きの確認、本学に対する企業様からのご意見、時には採用や不採用の理由まで踏み込みお話を伺います。その理由は、私達が企業様との‘良好かつ持続的な関係継続’を重視しているからです。そこで、最近何うお話が、オフィスの縮小な

どにより採用会場の確保に困っているという話です。会場につきましても、一度本学にご相談下さい。本学では、年間約50社の採用選考会場としての実績があります(平成22年度実績、合同選考会含む)。このような日々の一つ一つの取組も、産学連携の一環と考えております。

本件に、ご関心やご賛同頂きましたら、
私達にご一報願います。
説明、打ち合わせの機会を頂きたいと考えています。
ご訪問させていただき、
何度でも話し合える準備が私達にはございます。

TEL : 042-468-3196
career@musashino-u.ac.jp

